

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	須坂市福祉会館	所在地	大字須坂1218番地	
施設分類	社会福祉施設	所管課	福祉課	
財産区分	行政財産	延床面積 (m ²)	794	
居住誘導区域	該当	防災関連施設	該当	
設置根拠	須坂市福祉会館条例	設置の目的・経緯	障害者の福祉の増進と自立の促進を図るため。(須坂市福祉会館条例趣旨より)	交通アクセス 長野電鉄須坂駅から徒歩約7分
事業内容	福祉活動の拠点施設	貸付の有無	有	訓練室・作業室・第1会議室
管理運営の状況	指定管理	委託内容	(1)利用の許可、許可の取消し並びに利用の制限及び停止に関する業務(2)施設及び備品等の維持管理に関する業務(3)利用料の徴収、減免及び還付に関する業務	
備考 (その他特記事項)				

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	2	地下	-	建築面積		延床面積	794
構造 (主たる建物)		RC造			建築年度 (主たる建物)	1986	築年数 (主たる建物)	39
取得価格	180,892,500				耐震化の状況		新耐震基準施設	
帳簿原価	180,892,500				バリアフリー対応		AED設置・おむつ交換台・車いす対応トイレ・玄関スロープ・エレベーター・フリーWi-Fi	
減価償却累計額	97,320,277				省エネルギーの対応状況		照明をLEDへ変更	
老朽化率		54%			施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費				
	委託料	187	0	180	122
	光熱水費				
	維持補修費	372	405	29	269
	減価償却費	5,119	5,119	5,119	5,119
	指定管理料	3,886	3,961	3,886	3,911
	その他	39	330	41	137
費用合計		9,603	9,815	9,255	9,558

収入	利用料等収入				
	国庫補助金等収入				
	その他				
	収入合計	0	0	0	0

収支	-9,603	-9,815	-9,255	-9,558
利用者一人当たりコスト	0.62	0.58	0.50	0.56

修繕履歴	金額	8,025	内容	2021年度 エレベーター修繕
修繕履歴	金額	83	内容	2024年度 エレベーター修繕
改修履歴	金額	59,547	内容	2020年度 長寿命化改修
改修履歴	金額	7,535	内容	2025年度 照明器具LED化
今後10年間での大規模改修 費用				

4 施設利用状況

利用対象	市内に居住する障がい者及びその家族、障がい者に対するボランティア活動を行う者、社会福祉団体に属する者等								
開館時間	平日	午前8時30分～午後10時							
	休日	午前8時30分～午後10時							
休館日	12月29日～翌年1月3日								
駐車場の有無	有								

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	15,370	16,984	18,455	16,936	9%
年間利用可能人数	-	-	-		
利用率					
(参考) 年間目標利用人数	-	-	-		
年間利用時間	-	4,556	4,532	4,544	100%
年間利用可能時間	-	11,664	12,942	12,303	105%
稼働率		39%	35%	37%	-5%

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	須坂市福祉会館
-----	------	---------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	合計	1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	合計	1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
これまでの改修履歴	A	2	必要な改修がある程度行われている
	合計	6	

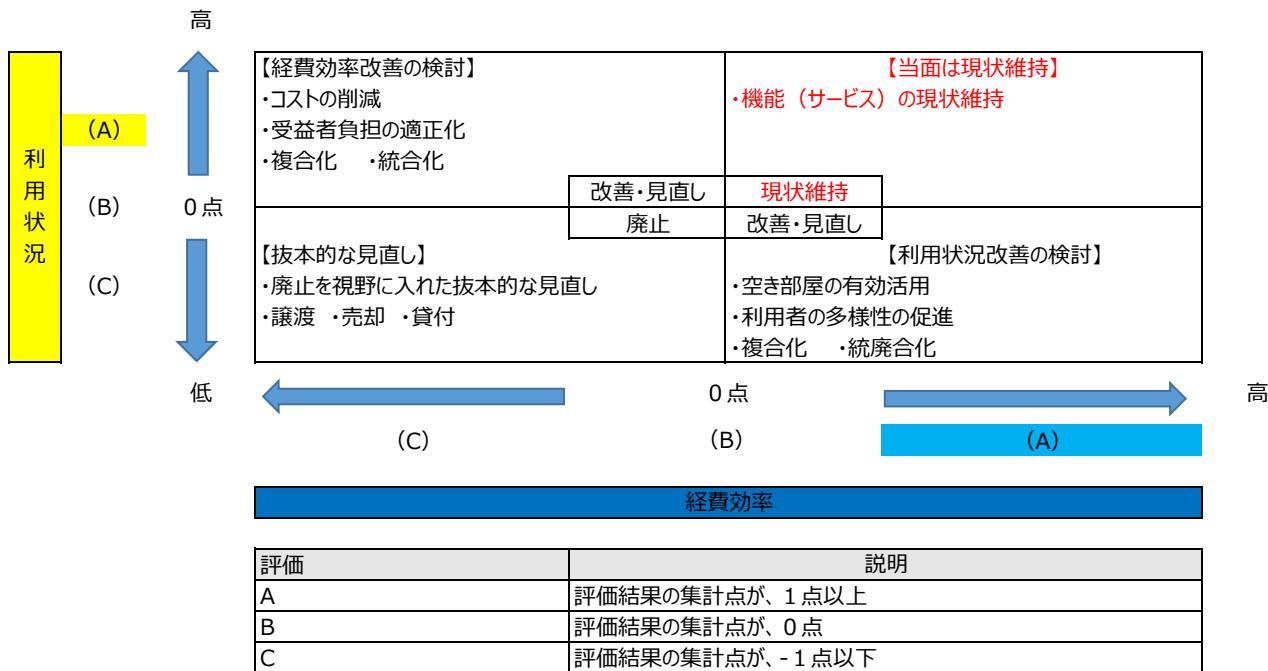
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	1
縦軸	必要性による評価	1
	合計点数	2

【当面は現状維持】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	6
縦軸	必要性と経費効率からの評価	2
	合計	8

【当面は現状維持】

